

# 館報

May. 2002

No. 50

## The Yokohama National University Library Bulletin

### 目次

出会いの空間 (田中政光) .....	1
—シリーズ 電子ジャーナル 第2回— 電子ジャーナルは、こんなに便利です .....	3
平成14年度新規購入雑誌一覧 .....	5
平成14年度新規中止雑誌一覧 .....	5
図書館に関する会議・主要日誌・職員の動向 .....	7
平成14年度の図書館について .....	7
情報リテラシー教育支援について .....	8
朝日新聞DNA (朝日新聞記事データベース) が利用できるようになりました .....	8

## 出会いの空間

田中政光

生物学にみると、人間というのは一種の「欠陥生物」であると、A. ゲーレンは言った。たしかに、他の動物は生れ落ちるや、自ら、たとえばミルクを求め、生きることを始めるのに対し、人間にはそれが出来ない。自ら求めることどころか、放っておけば死んでしまう。それだけではない。他の動物に備っているすぐれた能力、たとえば鋭敏な嗅覚や運動能力、その殆どを持っていない。情報処理能力に至っては一度に処理出来るのは最大で八つか七つ、それが人間という動物である。そうした人間がその生得的能力の欠陥を克服するためにつくり上げたもの、それが「制度」であり、いう迄もなく、図書館はその一つに外ならない。

そうした図書館、それは学生時代を思い起すときには、レポートや試験と結びついているかもしれない。あるいは机のキズや壁のシミであるかもしれない。仕事を振り返る場合、それは書庫独得の臭いであったり、機能一点張りとは異なる印象の、多様性を持った書庫という空間であるかもしれない。それがどのようなものであれ、大学人の生活から、図書館というものを外すことは出来ない。それ程、大学人の生活と図書館と

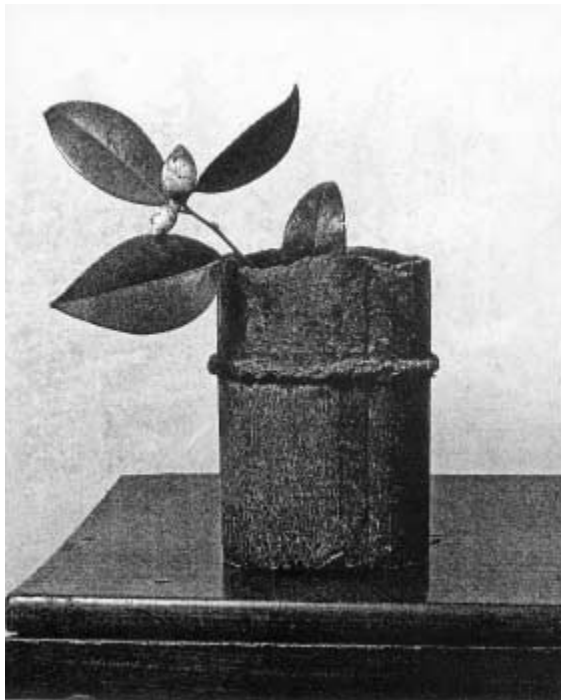
は深く結びついている。そしておよそ大学というものがあるかぎり、この関係が変わることは恐らくないであろう。

図書館、それは回顧するときとは違い、仕事の只中でラベルを追いかけるという作業からして常に甘美である訳ではないが、少なくともラベルを辿って行けば必要なものを手に入れることの出来る空間として存在する。所蔵の図書や資料がどれ程膨大で多様であっても、それぞれの図書館が採用している分類法さえ知っていれば、欲しいものに行き着く。それが図書館であり、この欲しいもの、必要なものを検索し、手に入れるという作業に関するかぎり、図書館の発展は著しい。そしてこの点においては、「大学」図書館もその例外ではない。

今や、必要なもの、欲しい資料を手にするために、インデックスを繰る必要は必ずしもない。腰をかがめて木の小箱を開ける必要もない。キーボードを叩くだけで、所在はハッキリする。コンテンツを見、その要否を決めることも出来る。それだけではない。ネット上にある図書館であれば、他の大学であっても、そうした需要を同一の手順で充足することが出来る。いわ

ゆる「サイバー・スペース上」の図書館、「ネット・スペース上」の図書館への進展である。今日、図書館は多かれ少なかれ、こうした流れの中にあり、「効率化」を図っている。その流れの中で「図書館」は、次第に物理的空間としての性格を強いられ、多様性を失いつつあるように見える。

しかし、大学人の仕事を考えると、追求すべき問題、あるいは解決すべき問題が、前もって、しかも明確に決まっていることは余りない。教育であれ、研究であれ、一見すると明確にみえる問題も、その実、多義的で、あいまいなものである。追求すべき問題、解くべき問題の多くは、その姿かたちを変えて、出たは消え、消えては又出てくる。それが解くべき問題となるのは、マドリング・スルーに近い作業を経てからであって、必ずしも当初から、明確に与えられている訳ではない。そしてこのことは、教育や研究上のテーマが「ブレイク・スルー」と呼ばれるものに近くなればなる程、一般的に妥当すると言えよう。



白洲正子『器つれづれ』世界文化社 漆桶 年代不明 高18.3cm

したがって、図書館のIT化が直ちに「成果」を約束する訳ではない。それが約束しているのは作業の「効率」であって、何を追及すべきか、何をテーマとすべきかを教えてくれる訳ではない。あくまでその役割はサポートである。このことは急速に進展しているサイバー・スペースの「ヒューリスティックな」側面を決して否定するものではない。そうではなくて、少なくとも今のところ、IT武装した図書館の機能それ自体、

次々に姿かたちを変えてくる問題に依存しているということ、それが特定されて始めて、回転し出すのであって、その逆ではないということである。

もしそうであるとすれば、必要なものを出来るだけ効率的にという観点だけでは足りない。それ以上に、何を追及すべきなのか、追及すべき問題を見出し、創造する空間としての図書館が必要になる。さらに言えば、いつ、いかなるときに、図書館はこうした二つの機能なしに役割を果たすことが出来るかと問うことが大事になって来る。「情報と思想のフォーラム」という、アメリカ図書館協議会の見方は(1980年)、明らかにこうした二つの機能を睨んだものであり、とくに追及すべき「何か」の創発する空間としての図書館に射程を合わせたものである。

それによると、図書館はもとより、単なる所蔵施設ではない。そうかと言って、効率的な作業の遂行を可能にする、単なるネット空間に止まるものでもない。そうではなくて、多様なアイデアが交錯し、そこから追及すべきものが創発してくる空間、そしてそのための多様な「出会い」の空間、それが図書館に外ならないのである。そこには、それ迄結びつかなかったものを互いに結びつけ、全く新しい何かとして結実させるかもしれない「出会い」の可能性に対する期待がある。それを現実のものにする可能性を持つ図書館に対する期待がある。

図書館はもともとそうした性格を持っていたはずである。出会いの空間というイメージと図書館とが必ずしも結びついていないとすれば、それは資料や書籍、その増加に圧倒されてしまっているからであり、その効率的な利用という観点が強くなり過ぎているからである。図書館本来の性格を取り戻そうとすれば、どうしても効率と対極にある多様性を意図的につくり出す必要がある。とくに、その性格上巨大なデータ・ベースとしての役割を担わざるを得ない、たとえば国会図書館等とは違い、「大学の」図書館に求められているのはこの多様性に満ちた出会いの空間としての役割であって、その要求はIT化の進展につれて、強まることはあっても弱まることはないであろう。多様な専攻課程や複数の学部、学科の存在は、そうした要求を考えるとときに強みともなれば、反対に弱点ともなり得る。とくに組織運営という観点からすれば、多様性の確保という要求は図書館に困難な問題をひき起こすが、その解決は「大学というものをどのようなものとしてとらえるかに」大きく依存している。その意味で、出会いの空間としての図書館の可能性は遠くにではなく、足元にあると言わなければならない。

(たなか まさみつ 経営学部教授)

# － シリーズ電子ジャーナル第2回 －

## 電子ジャーナルは、こんなに便利です

### もう一步踏み込んで

当シリーズの第1回では、電子ジャーナルの概要、利用対象者、主な利用目的、そして一般的な利用手順等、言わば「事始（ことはじめ）」的な解説を行いました。この第2回では、もう少し利用が進んでからの、知っておくと便利な機能の使い方について説明します。

### 論文を検索してみよう

前回も触れましたが、論文やレポートを執筆するにあたって、自分が調査しているテーマに関連のある論文を電子ジャーナルの検索機能を使って探索・入手することで、文献収集に役立てることができます。

この「検索」という機能は、冊子体のジャーナルにはない、電子ジャーナルならではのメリットの一つです。特に、Elsevier Science社のScienceDirectという電子ジャーナルサービスは、複雑な検索が可能な優れた検索エンジンを備えています。また、数多くの有力な学術雑誌（総タイトル数1200以上）を擁する出版社による、膨大な数（2002年4月1日現在の登録論文数約214万件）の論文を収録した電子ジャーナルサービスであるため、これを本格的な文献データベースとして活用しない手はありません。

ここではScienceDirectを例にとって、重要な検索のヒントを説明します。なお、ScienceDirectのページには、附属図書館ホームページ（<http://www.lib.ynu.ac.jp/>）のメニュー中から、「電子ジャーナル」を選ぶと表示される「横浜国立大学 電子ジャーナルライブラリー」のページで、"Elsevier ScienceDirect"を選択することで到達できます。

### <お手軽検索から上級検索まで>

ScienceDirectには、① Quick Search、② Basic Search、③ Advanced Search、の3種類の検索モードがあります。

- ① Quick Search … ScienceDirectのどのページにもQuick Searchボックスが用意されていて、これに検索語を入力して簡単に検索を行えるようになっています。ただし、検索対象項目は論文等のタイトル、抄録（要旨）、キーワードに限られます。
- ② Basic Search … ScienceDirectのどのページにも表示されている  ボタンをクリックすると、検索ページが表示されます。検索ページに

は、上部と右側に幾つかのタブが用意されており、検索対象資料と検索レベルを選択できるようになっています。標準の設定では、検索レベルがこのBasic Searchになっています。（なお、検索対象資料については、標準ではAll Sourcesになっているので、ジャーナルのみを検索する場合は、上部のタブからJournalを選択する必要があります。）検索語入力ボックスは2個あり、それぞれの検索対象項目は、論文タイトル、抄録、キーワードの他に、著者、論文本文、参考文献、ジャーナル名等を指定できます。

- ③ Advanced Search … 検索ページの右側のタブからAdvanced Searchを選択するとこのAdvanced Searchモードになります。（なお、検索対象資料については、標準ではAll Sourcesになっているので、ジャーナルのみを検索する場合は、上部のタブからJournalを選択する必要があります。）Queryボックス内に検索式を作成して入力することで、3種類以上の検索対象項目を組み合わせ、肌理細かな検索を行うことができます。また、検索対象項目は、Basic Searchでの項目の他にaffiliation（著者の所属）、appendices（論文の付録資料）を指定できます。

以上3種類の検索モードは、それぞれの特性を念頭に置いたうえで、目的と場合に依じて使い分けられますが、いずれの検索モードでも通用する約束事があります。その一つが、検索語の相互関係を規定する演算子です。

### <初めの一步、論理演算子>

- ① 論理演算子なし … 論理演算子を含まない複数の単語は、フレーズとして扱われます。  
**例：**Bessie Smithは、BessieとSmithがこの順番で、空白を一つ挟んで現れる論文を検索します。従って、Smith、BessieやBessie M. Smithは対象外となります。
- ② OR … いずれかまたは全てが現れる論文を検索します。同義語、略語、不規則変化を考慮した検索が可能となります。一般的な語を使用すると、ノイズ（無関係な情報）が増幅します。  
**例：**ffxi OR ff xi OR final fantasy xi

- ③ AND … 全てが出現する論文を検索します。

例: **sanrio AND disney**

ただし、相互に離れて出現する場合でも検索されてしまうので、人名等を検索する時には注意が必要です。

例: **iwai AND shunji**としても、必ずしもIwai Shunjiが検索されるわけではありません。その論文内に、例えばIwai HanshiroとFujimura Shunjiがあれば、ヒットしてしまいます。このような場合は、次項で説明する近接演算子を用います。

- ④ AND NOT … 特定の語を含まない論文を検索します。関連文献を除外してしまう可能性もあるので注意が必要です。

例: **ntt AND NOT docomo**は、nttを含む論文からdocomoを含む論文を除きます。

#### <これは重宝! 近接演算子>

- ① W/mn … 2つの単語の近接度を指定します。Wはwithinの意味で、単語間に最大mn個の語が含まれる、という条件になります。語順は無関係でどちらの単語が先に現れても構いません。mnは整数で、 $1 \leq mn \leq 255$ の値をとります。同一句内の用語を検索するにはW/3、W/4、W/5等を使用し、同一文内の用語の場合はW/15、W/20等を使用します。また、段落内の用語を検索する場合はW/50等を使用します。論理演算子ANDの代わりに指定するとノイズを激減できる場合があります。

例: **internet W/15 shopping**

例: **iwai W/1 shunji**

例: **b! W/3 smith**

(!は、ワイルドカードの一つで、0文字以上のあらゆる文字列に置き換えられます。)

- ② PRE/mn … 1番目の単語が2番目の単語よりもmn個の語数以内で先に現れるという意味です。mnは整数で、 $1 \leq mn \leq 255$ の値をとります。

例: **child PRE/3 abuse**は、child abuseの他にchild sexual abuse等も含めて検索します。

#### <検索式で、ノイズとはおさらば>

今まで述べた論理演算子や近接演算子は、Quick Search、Basic Search、Advanced Searchのいずれにも適用可能です。漏れのないように幅広く文献を集めることも大事ですが、同時に、全く関連のない文献は拾わずに本当に自分の欲しい文献だけを検索していきたいものです。そのためには、Advanced Searchで検索式を作成して検索するのがよいでしょう。

例: **abstract (porco rosso OR crimson pig**

**AND miyazaki) AND full-text (brutal! OR violen!) AND references (johnson PRE/2 a! AND johnson PRE/15 film today)**

これは、論文の抄録中に、「紅の豚」(Porco RossoあるいはCrimson Pig)と「宮崎」の両方が、また本文中には、「残忍」あるいは「暴力」(の派生語)が入っていて、なおかつ論文の参考文献にはFilm Today誌掲載のA. Johnson著の論文が必ず挙げられている、という条件を指定したものです。

例: **keywords (superconduc!) AND affiliation (yokohama national univ!)**

これは、著者あるいは出版社が付与したキーワードに必ず「超伝導」があって、なおかつ著者の所属が横国大である、という条件による検索式です。

#### 電子メールアラートを使おう

こうして作成した検索式は、ScienceDirectのサーバーに保存しておき、次のアクセス時に呼び出して再利用することが可能です。また、その検索式に基づいた検索をサーバー側で定期的に行い、その結果を自分のメールアドレス宛に送ってくれる「電子メールアラート」という機能があります。

検索式の保存や電子メールアラートの利用をするには、ユーザー登録を行わねばなりません。ユーザー登録は、アクセスした時の最初の画面で>Create a Personal Profileの部分をクリックし、画面の指示に従って個人情報を入力していくことで簡単に行えます。

#### マニュアルをダウンロードしよう

ScienceDirectにはこの他にも様々な機能や使い方のテクニックがあります。150ページ以上にも及ぶ利用マニュアル(日本語版は約50ページ)が日本語によるサポートサイト(<http://japan.elsevier.com/sdsupport/>)から入手できるようになっていますので、是非ダウンロードして詳しい説明をよく読み、便利な利用法を身に付けてください。そして電子ジャーナルの有効な活用に役立ててください。

#### 電子ジャーナル大幅増加のお知らせ

4月から新たに次の電子ジャーナルサービスが利用可能となりました。

- ・ Blackwell Publishing SSH コレクション  
(人文社会科学分野の約270タイトル)
- ・ Springer LINK  
(自然科学分野を中心とした約400タイトル)
- ・ Nature (自然科学系の総合誌)

これで現在利用できる電子ジャーナルは、全部で約2,200タイトルに増えました。

## 2002年度購入新規雑誌一覧

- |  |  |
|--|--|
| (国内誌)  | 9 Bank Accounting and Finance  |
| 1 アイソス                                       | 10 Behavior Analyst  |
| 2 環境会議 (宣伝会議別冊)                              | 11 Behavioral Interventions  |
| 3 (月刊) 環境自治体                                 | 12 Business and Society  |
| 4 観世   | 13 The Comics Journal  |
| 5 機械技術                                       | 14 Education Week  |
| 6 技術と経済                                      | 15 Empirical Economics   |
| 7 教育制度学研究                                    | 16 The European Accounting Review  |
| 8 現代農業. 増刊                                   | 17 European Public Law   |
| 9 国際私法年報                                     | 18 European Union Politics   |
| 10 商業界                                       | 19 The Financial Times   |
| 11 消費者法ニュース                                  | 20 Geoworld  |
| 12 生徒指導学研究                                   | 21 Indonesian Quarterly  |
| 13 宣伝会議                                      | 22 Information Systems Research  |
| 14 (月刊) 中小企業                                 | 23 International Journal of Comic Art  |
| 15 中小商工業研究                                   | 24 The International Journal of Human Resource Management                    |
| 16 日経LINUX                                   | 25 International Small Business Journal                                      |
| 17 日経WINDOWSプロ                               | 26 Journal of Behavioral Education   |
| 18 日本教育経営学会紀要                                | 27 Journal of Mathematics Teacher Education                                  |
| 19 日本経済研究                                    | 28 Journal of the History of Sexuality                                       |
| 20 日本特別活動学会紀要                                | 29 Journal of the Indian Law Institute                                       |
| 21 年報科学・技術・社会                                | 30 Journal of the Mechanics and Physics of Solids                            |
| 22 フォーブス日本版                                  | 31 Mathematics Education Research Journal                                    |
| 23 マール                                       | 32 Post-Communist Economies  |
| 24 論座  | 33 Real Estate Economics   |
| 25 CM NOW                                    | 34 Research in Developmental Disabilities                                    |
| (外国誌)  | 35 Revue française de droit constitutionnel                                  |
| 1 Accounting and Finance                     | 36 Small Business Economics  |
| 2 American Journal of Comparative Law        | 37 Social Studies of Science   |
| 3 American Quarterly                         | 38 Teaching Mathematics and its Applications                                 |
| 4 Animation Journal                          | 39 Work, Employment and Society  |
| 5 Annals of Economics and Finance            | 40 WSI Mitteilungen  |
| 6 Annuaire / Institut de droit international | 41 Zeitschrift für Rechtsvergleichung, internat. Privatrecht und Europarecht |
| 7 Anthrozoos                                 |  |
| 8 Applied Soil Ecology                       |  |

## 2002年度購入中止雑誌一覧

- |             |           |
|-------------|-----------|
| (国内誌)       | 7 昆虫と自然   |
| 1 海の研究      | 8 最新医学    |
| 2 海岸工学論文集   | 9 雑貨統計月報  |
| 3 紙・パルプ統計月報 | 10 視聴覚教育  |
| 4 高校教育展望    | 11 社会福祉研究 |
| 5 行動計量学     | 12 新聞研究   |
| 6 ゴム製品統計月報  | 13 積算資料   |

- |  |   |
|--|---|
| 14 繊維製品消費科学  | 27 Journal of Biogeography  |
| 15 楽しい体育の授業  | 28 Journal of Clinical Psychology                                       |
| 16 日経01  | 29 Journal of Experimental Psychology. Human Perception and Performance |
| 17 日本社会教育学会紀要  | 30 Journal of Experimental Education                                    |
| 18 船の科学  | 31 Journal of Loss Prevention in the Process Industries                 |
| 19 望星  | 32 Journal of Oceanography  |
| 20 マリンエンジニアリング   | 33 Journal of School Health   |
| 21 水工学に関する夏期研修会講義集A  | 34 Journal of Social Psychology   |
| 22 水工学に関する夏期研修会講義集B  | 35 Journal of the Franklin Institute                                    |
| 23 臨床心理学研究   | 36 Journal of Transnational Management Development                      |
| 24 Coastal Engineering Journal   | 37 Journal of Tropical Ecology  |
| 25 Historia Scientiarum. 2nd Ser.  | 38 London Magazine  |
| 26 Journal of Visualization  | 39 Maastricht Journal of European and Comparative Law                   |
| 27 K A Z I<br>(外国誌)  | 40 Material Performance   |
| 1 Кинетика и Катализ   | 41 Mathematika  |
| 2 Педагогика   | 42 Mathematische Nachrichten  |
| 3 Acta Arithmetika   | 43 Medical Technology   |
| 4 The American Journal of Psychology   | 44 Metal Abstracts  |
| 5 Applied Psychological Measurement  | 45 MLN  |
| 6 Archiv für Elektronik und Übertragungs-technik                             | 46 The Modern Language Review   |
| 7 Archive of Applied Mechanics   | 47 Monash Bioethics Review  |
| 8 Australian Journal of Education  | 48 Natur und Landschaft   |
| 9 The British Journal of Psychology  | 49 New Zealand Journal of Educational Studies                           |
| 10 British Medical Journal   | 50 NTZ  |
| 11 Canadian Journal of Experimental Psychology                               | 51 The Philosophical Magazine. A  |
| 12 Ceramic Abstracts   | 52 The Philosophical Magazine. B  |
| 13 Computing & Control Engineering Journal                                   | 53 Poetry Review  |
| 14 Concrete International  | 54 Powerconversion & Intelligent Motion                                 |
| 15 De Economist  | 55 Promotion & Education  |
| 16 Electronic Engineering  | 56 Pure and Applied Chemistry   |
| 17 ELH   | 57 Recherches en didactique des mathématiques                           |
| 18 Family Therapy  | 58 Regional Science & Urban Economics                                   |
| 19 Global Change Biology   | 59 Review of Political Economy  |
| 20 Health Education Journal  | 60 Russian Journal of Electrochemistry                                  |
| 21 HSB International   | 61 Shock and Vibration Digest   |
| 22 Industry Week   | 62 SIAM Journal on Matrix Analysis and Applications                     |
| 23 International Journal of Health Promotion and Education                   | 63 Stand  |
| 24 International Journal of Mathematical Education in Science and Technology | 64 Studia Linguistica   |
| 25 JETP Letters  | 65 Transnational Corporations   |
| 26 The Journal of Applied Ecology  | 66 Tuexenia   |
|  | 67 Umformtechnik  |

## 図書館に関する会議

(平成13年11月1日～平成14年2月28日)

### 運営委員会

平成13年度第4回(平成13年11月16日)

<審議事項>

- 1) 電子ジャーナルサービス(サイエンスダイレクト)の経費負担について
- 2) 横浜国立大学附属図書館における情報リテラシー教育のあり方について

平成13年度第5回(平成14年1月25日)

<審議事項>

- 1) 附属図書館運営委員会規則について
- 2) 平成13年度臨時休館について
- 3) 平成14年度附属図書館開館日程について
- 4) 平成14年度電子ジャーナルサービスについて
- 5) 平成14年度情報リテラシー教育支援の実施計画について
- 6) 平成15年度概算要求について
- 7) 平成14年度特別経費の要求について

### 図書館資料選定小委員会

平成13年度第3回(平成14年2月15日)

<審議事項>

- 1) 平成14年度大型コレクション収書計画の策定について
- 2) 教官の転任に伴う附属図書館資料の管理換について

## 主要日誌

(平成13年11月1日～平成14年2月28日)

- 11.8 神奈川県内大学図書館相互協力協議会(専修大学)
- 11.9 関東地区国立大学附属図書館事務部長会議(茨城大学)
- 11.22 神奈川県図書館協会広報委員会(神奈川県立図書館)
- 12.7 大学図書館著作権問題ワークショップ(早稲田大学)
- 12.14 神奈川県図書館協会大学図書館委員会(鶴見大学)
- 12.19～20 国立大学図書館協議会シンポジウム(埼玉大学)
- 12.20 神奈川県図書館協会広報委員会(神奈川県立図書館)
- 1.17～18 国立大学附属図書館事務部長会議(山形大学)
- 2.7 目録システム担当者連絡会議(国立情報学研究所)
- 2.15 神奈川県図書館協会広報委員会(神奈川県立図書館)
- 2.19 大学図書館等情報化支援会議(国立情報学研究所)

## 職員の動向

(平成13年11月1日～平成14年2月28日)

## 退職

(2月28日付)

情報サービス課参考調査係

佐川 達子

## 平成14年度の図書館について

平成14年度中、中央図書館(以下、「中央図」)は、新営・改修工事に伴い閉館しています。このため中央図の資料の一部を臨時的に社会科学系研究図書館(以下、「社会図」)及び理工学系研究図書館(以下、「理工図」)に移動させること等により、これまで中央図で提供していたサービスは、以下のとおり、これら2つの図書館で受けることができます。

利用者の皆さんにはご不便をおかけしますが、ご不明な点があります場合には、いつでも遠慮なく近くの図書館職員にお問い合わせください。

### 開架図書(主に学習用図書)

分野	OPACでの表示	配架場所
歴史、地理、社会科学、産業、芸術、スポーツ、言語、文学	所在：図1-2F開架請求記号：2、3、6、7、8、9で始まるもの	社会図
総記、哲学、宗教、自然科学、医学、技術、工学、家政学	所在：図1-2F開架請求記号：0、1、4、5で始まるもの	理工図

### 書庫図書(主に研究用・旧蔵図書)

書庫の図書(OPACでの所在表示：図2-1F書庫)は申込により、翌日(場合によっては翌日以降)に提供します。社会図、理工図のカウンターで申し込んでください。

### 参考図書(辞書・事典・統計・年鑑・白書等)

中央図の参考図書(OPACでの所在表示：図1-1F参考図書室)は、一部を除き理工図に配架されています。

### 雑誌・大学紀要

中央図の雑誌・大学紀要(OPACでの所在表示：図1-3F雑誌開架・図1-3F大学紀要)は、「雑誌等仮出納窓口」(中央図教育人間科学部第3研究棟側に設置)にて一時帯出の手続きができます。

口受付時間(授業期間中の月～金の12時～15時)に申し出てください。ただし、休業期間中及び授業期間中の第2部学生については、別途対応しますので社会図、理工図にてお申し込みください。なお、中央図の雑誌の最新巻号については、理工図に配架されています。

また、これとは別に社会図<社図-雑誌フロア>と理工図<理図2F雑誌開架><理図2F大学紀要>にも雑誌・大学紀要があります。

## 新聞

当日の新聞は社会図と理工図にあります。新聞縮刷版（過去の累積版）は一部を除き、社会図に配架されています。

## 視聴覚資料（DVD、LD、ビデオ等）、マルチメディア資料（CD-ROM等）

理工図に配架されています。閲覧用機材も理工図にあります。

## マイクロ資料（マイクロフィルム等）

社会図に配架されています。閲覧用機材も社会図にあります。

## レファレンスサービス（利用相談、所蔵調査等）、共通閲覧証・紹介状の発行、学外からの複写物の取寄せ、学外からの図書の借用

社会図と理工図にて受付けますので、各カウンターに申し出てください。

## その他

中央図にあった資料・設備	配置場所
博士論文等<図1-1F特殊資料室> 現行法規総覧<図1-1F参考書庫>	社会図
国際交流コーナー<理図国際交流コーナー> 本学教官等著書<理図大学研究> パソコンコーナー	理工図

## 情報リテラシー教育支援について

附属図書館では、情報リテラシー教育の支援を目的として、以下のような講習会の開催による図書館利用ガイダンスを行います。

### 定期講習会

社会科学系研究図書館で前期（5～7月）、後期（10～12月）に次のようなメニューによる講習会を行います。日時については、図書館カウンターや図書館ホームページ（<http://www.lib.ynu.ac.jp/>）で確認してください。

#### ① 資料検索入門

図書館や大学内にある図書や雑誌の探し方について説明します。

#### ② 論文検索ガイダンス

データベースや文献目録を使って主題関連文献（主に雑誌論文）を探す方法について説明します。

#### ③ 参考図書利用案内

参考図書の種類や用途について説明します。また、インターネット上の学術資源も紹介します。

#### ④ 卒論作成のための図書館利用案内

卒論作成という観点から、資料収集や文献コピー等の図書館の活用法について説明します。

#### ⑤ 電子ジャーナル利用案内

主に海外の学術出版社による電子ジャーナルサービスの概要と実際の使い方について説明します。

以上の講習会の参加希望者は、事前に社会科学系研究図書館のカウンターで予約してください。（平日9:00～17:00受付）

## 出張講習会

授業を担当されている先生方の要請に基づいて、図書館職員が授業の1コマ内で、図書館利用ガイダンスを行うものです。

内容、日時等については、ご相談ください。

問合せ先：附属図書館参考調査係（内線3217）

e-mail: [ref@lib.ynu.ac.jp](mailto:ref@lib.ynu.ac.jp)

## 朝日新聞DNA（朝日新聞記事データベース）が利用できるようになりました

「朝日新聞DNA（Digital News Archives）（朝日新聞記事データベース）が利用できるようになりました。

1984年8月以降の300万件にのぼる朝日新聞の記事を検索できます。また、週刊誌「AERA（アエラ）」の記事（1988年5月の創刊号以降）や「週刊朝日」のニュース面（2000年4月以降）も検索できます。

### 利用手順：

- ① 図書館ホームページの「オンラインデータベース検索」のページ（<http://www.lib.ynu.ac.jp/onldb.html>）にアクセスします。
- ② 「朝日新聞DNA（朝日新聞記事データベース）」のリンク部分をクリックします。

### 注意事項：

- ・学内からのみ利用できます。
- ・「オンラインデータベース検索」のページ上の「注意事項」もよくお読みください。